

特定非営利活動法人 フリースペースたまりば (認定NPO法人)

2018年度事業報告書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

1. 事業の成果

学校や家庭・地域の中に居場所を見出せない子どもや若者及びその保護者とともに、一人ひとりが安心して過ごせる居場所をつくり、学校外での多様な学びや育ち・生き方を支援し、自己肯定感を取り戻す人間関係を育む環境と文化を創造することを目的として、活動を行なった。

2018年12月13日に、「認定NPO法人」に認定され、当法人への寄付者が税制優遇を受けられるようになった。これを機に、個人からの大口の寄付や企業から寄付や寄贈の話も進み始めている。

川崎市子ども夢パークは、本年度でオープン15周年目を迎え、1年間を通して記念事業を行ない、従来の3大イベントに加え、オープン日である7月23日には、「おたんじょうび会」と称し、“15”にちなんだ遊びをするイベントも行なった。また、毎年恒例のたまりばフェスティバルは子ども実行委員会によって今年度のテーマが、“フリースペースえん15周年「一期一えん。」”と決まり、15年の出会いに感謝するフェスティバルとなった。

2017年度より、神奈川県保健福祉局と協働による「生活困窮者自立支援ネットワーク(幹事団体(川崎事務局)として参画)」では、6月にさまざまな生活困窮者支援を行なっている団体をまとめた支援マップを作成し、簡単に検索することができる「かながわ応援サイト」をHPで公開した。

また、理事長 西野博之が長年にわたる不登校支援に加え、川崎市子ども権利条例の策定や、「フリースペースえん」を含む川崎市子ども夢パークづくりなどの生きづらさを抱える子ども・若者達などの居場所づくりを評価されて「第23回神奈川県弁護士会人権賞」を神奈川県弁護士会より受賞し、2019年2月3日に贈呈式が行なわれた。

2. 事業内容

居場所(活動拠点)・事業

A) 川崎市子ども夢パーク	}	指定管理施設	指定管理料(分担金): 45,225,000円
B) フリースペースえん			
C) 川崎若者就労自立支援センター「ブリュッケ」(川崎市生活保護受給世帯等若者就労自立支援事業)			委託費: 25,500,000円
D) 「よつばの会」(川崎市学習支援居場所づくり事業)			委託費: 3,577,780円
E) 「ふれあい心の友」(川崎市ひきこもり等児童福祉対策事業)			委託費: 6,269,728円
F) かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク [川崎事務局]			補助金: 2,219,198円
(かながわボランティア活動推進基金21 協働事業)			

(1) 誰もが安心して過ごせる居場所の開設と運営

< A) 川崎市子ども夢パークの管理・運営 >

- ・内容:(公財)川崎市生涯学習財団と「川崎市子ども夢パーク共同運営事業体」を結成し、指定管理者として川崎市子ども夢パーク(以下 夢パーク)の管理・運営業務を行ない、理事長 西野博之 が夢パーク所長を務めた。また、昨年度から引き続き、副所長二人体制でより安全な施設管理、運営体制を実現

した。

夢パークは、「川崎市子どもの権利に関する条例」の具現化を図ることを目的として川崎市によって設置され、子どもの活動拠点、プレーパーク、不登校支援、乳幼児・子育て支援、多文化共生、世代間交流等、多機能が備わった子どもたちの総合的な居場所である。これらの実現を目指して、以下の3つを事業の柱として、管理・運営を行なった。

<夢パークの3本柱>

- 「子どもの活動拠点」…子どもが自由に安心して集い、自主的及び自発的に活動する拠点
- 「プレーパーク」…土や水、火や木材などの自然の素材や道具や工具を使い、子どもたちの遊び心によって自由につくりかえられる遊び場
- 「フリースペースえん」…主に学校の中に居場所を見出せない子どもや若者たちが、学校外で多様に育ち・学ぶ場

<子どもが自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける居場所>

夢パークでは「子どもが自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける居場所」であることを目指して整備してきた。子どものいのちを真ん中におき、一人ひとりの自己肯定感を育む環境づくりに力を入れている。子どもが安心して、ありのままの自分でいられることを尊重し、自分の中から湧き出る「やってみよう」を大切にしたいと考えている。そして、できるだけ禁止事項をつくらず、子どもの発想で自由に遊び、自分の力の限界に挑戦し、それができたときの達成感を通して自信を育むとともに、安心して失敗できる環境づくりに力を注いだ。ここでは子どもの「参加」を大切に、運営や遊具の製作・設置・撤去、イベントの開催などに子どもの意見を聴き、子どもたちが自主的・自発的に活動する拠点づくりをめざした。

- 使いながらつくり続けていく場
- 子どもの自由な遊び、活動がどんどんふくらむ場
- 子どもが自由に安心して居られる場
- 学校以外での育ち、学ぶ場
- 川崎市の子どもネットワークの拠点となる場
- 子どもたちが自分たちで動かしていく場

・開設日時（夢パーク）

2018年4月1日～2019年3月31日

通年（毎月第3火曜日の施設点検日、臨時施設点検日、年末年始を除く） 9:00～21:00

- ・場所：神奈川県川崎市高津区下作延 5-30-1 川崎市子ども夢パーク
- ・総利用者数：87,103人

< B) 不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」の運営 >

- ・内容：川崎市子ども夢パーク内において、学校や家庭・地域の中に居場所を見出せない子どもや若者が安心して過ごせる居場所づくりを行なった。今年度の特徴としては、小学生の登録者が急増していることがあげられる。

○ 自分で決めるプログラム

決められたカリキュラムはなく、子どもたち一人ひとりが、自分でその日をどのように過ごすかプログラムづくりを決定し一日の活動を行なった。“この指とまれ”方式で、自主企画をたて、仲間を集めて一緒に活動した。

○ 昼食づくり

毎日、その日に食べる人が献立を決め、買い物、調理、配膳など自分のできるところや得意なところを担当しながらスタッフと子どもたちが協力して、30人～40人分の昼食づくりを行なった。(1食250円)

・開設日時 (フリースペースえん)

2018年4月5日～2019年3月18日

月曜日～金曜日 10:30～18:00 祝日は休み (ただし、火曜日は10:30～14:00)

開設日: 200日

特別活動日: 33日 (自然野外体験、合宿、イベントなど <別紙参照>)

・場所: 神奈川県川崎市高津区下作延 5-30-1 川崎市子ども夢パーク内

・対象者: 登録制

登録者 (2019.3.31 現在)

	男	女	計
小学生	29	16	45
中学生	19	15	34
高校生年齢	20	9	29
18才以上	28	15	43
計	96	55	151

< C) 川崎若者就労自立支援センター「ブリュッケ」の開設・運営 >

・内容: 川崎市内で生活保護受給世帯等の15歳～29歳で、社会的ひきこもり状態にある若者たちに対し、居場所の提供を中心とした生活支援及び面接等アウトリーチによる就労支援を行なった。

・開設日時

2018年4月1日～2019年3月31日

月曜日～金曜日 9:30～18:00 (居場所の開設: 月・水・金曜日 10:30～17:00)

【開設時間例】

月・水・金曜日: AM 昼食づくり、フリータイム、来所メンバーによるミーティング
共食タイム (「おいしい・うれしい・たのしい」をみんなで!)
PM グループワーク、フリータイム

火曜日: 予約制の生活・就労相談日

木曜日: ケースカンファレンス、連携・調整会議等

・場所: 神奈川県川崎市高津区内

・対象者: 登録制

年間登録者数 56名 (2019.3.31 現在)

支援類型別相談支援者内訳	人数
居場所支援	22
アウトリーチ支援	8
その他 (CW への相談援助・定着支援・関係機関との連携ケース等)	26

※就労支援 (ボランティア活動を含む): 21名 (うち居場所支援: 13名、アウトリーチ支援8名)

< D) 「よつばの会」の開催 >

- ・内容：高津区内の生活保護世帯の中学生に対して、学習支援・居場所づくりを行なった。個別の理解度や苦手分野に合わせた個別学習を中心に行ない、学習以外にもサポーターや来ているメンバー同士の交流会を開いた。夏期や高校入試直前には、希望者に対し集中講座・無料の模擬試験を実施した。
- ・開設日時
2018年4月1日～2019年3月31日
週2日（月曜日・木曜日）18：30～20：30 祝日は休み
開催回数：88回（夏期や高校入試前の集中講座を含む）
- ・開設場所：川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
- ・対象者：登録制

登録者（2019.3.31現在）

	男	女	計
1年生	2	0	2
2年生	4	3	7
3年生	1	2	3
計	7	5	12

※ 高校進学後も、いつでも相談に来れるように受け入れ態勢を整えた。

< E) 「ふれあい心の友」事業の実施 >

- ・内容：川崎市内の児童相談所と関わりのある不登校・ひきこもり傾向にある児童・生徒が、主に大学生が登録している「ふれあい心の友」と児童相談所内で交流し、自主性や社会性の伸長を図ることを目的としている。この事業のうち、フリースペースたまりばは、ふれあい心の友登録者と対象となる児童・生徒が一对一で学習をしたり話をしたりする個別活動支援のうち、「ふれあい心の友」の募集・研修・派遣を担当した。また、児童相談所に通ってくる複数名の児童・生徒と一緒にゲームをしたり料理をしたりする集団活動支援のうち、活動内容の企画立案・準備・運営を担当した。

- ・実施日時

2018年4月1日～2019年3月31日

実施回数：個別活動支援 298回

集団活動支援 26回

研修 16回

- ・場所：川崎市こども家庭センター、川崎市中部児童相談所、川崎市北部児童相談所
- ・対象者：川崎市児童相談所と関わりのある18歳未満の児童・生徒

2018年度利用者数（延べ人数）

	こども家庭センター	中部児童相談所	北部児童相談所	計
個別活動支援	145	56	97	298
集団活動支援	56	9	25	90

(2)不登校・引きこもりなどで悩む本人や家族等の相談・援助活動

①来所相談

- ・内容：不登校、ひきこもり、非行、いじめ、生活上の問題等で悩む本人や家族等の電話相談、事前予約による来所相談を行なった。また「ブリュッケ」では、川崎市内の福祉事務所職員（CW）との連携を重視し、複合的な課題を持つ家族への対応も含めたCWの相談やスーパーバイズなど、「CWへの支援」も積極的に行なった。（無料）
- ・相談受付時間：（えん）原則 月曜日～金曜日 10：30～18：00（祝日は休み）
（ブリュッケ）原則 月曜日～金曜日 10：30～17：00（祝日は休み）
- ・相談場所：フリースペースえん、ブリュッケ（来所面接は予約制） 他

②派遣・アウトリーチ相談

- ・内容：「ふれあい心の友」事業では、ふれあい心の友に登録している学生を児童相談所内に派遣し、不登校・ひきこもり傾向にある児童・生徒の相談・援助活動を行なった。また「ブリュッケ」では、福祉事務所までなら来所できる若者に対し、福祉事務所内等でアウトリーチ相談を行なった。
- ・相談時間：児童相談所や福祉事務所と調整
- ・相談場所：児童相談所（登録制）、福祉事務所（登録制） 他

③本人や保護者の相談

○20才以上の若者たちの会を開催

- ・内容：20才以上の人たちが、食べたり飲んだりしながら語り合う会「えん会」を開催した。
- ・日時：毎奇数月
- ・場所：オーガニックカフェ「たまりばーる」 他
- ・対象者：20才以上の若者（フリースペースたまりば会員）（延べ55人参加）

○保護者とスタッフの語り合う会

- ・内容：保護者との関わりを大事にするために、また保護者同士がつながってお互いに話ができる様にその時々保護者の困りごとや子どもの様子などを話しあう保護者会を開催した。
- ・日時：毎偶数月
- ・場所：フリースペースえん
- ・対象者：フリースペースえんに登録している子どもの保護者（延べ174人参加）

(3)フリースペースの利用者による自主企画・活動の支援

< A) 川崎市子ども夢パーク >

①プレーパーク

子どもの「やってみよう」という気持ちを大切に、遊びを制限するような禁止事項をできるかぎりつくらず、子どもが考え、自分で決めて、実行するプロセスを大事にした。自分の力の限界に挑戦することを通じ、「やったー」「できた」と達成感を手に入れると同時に、安心して失敗できる環境づくりに努めた。自由な発想で自由に遊べる環境を大切にしたい。

②3大イベント

今年度は夢パークができて15周年ということもあり、祝15周年を銘打ってイベントを開催した。

- ・夢パまつり：夢パークの周年行事のお祝いとして15周年をみんなで祝い、多くの人達に水遊び、泥遊びの楽しさを知ってもらえるよう、この日だけの遊具や水遊びエリアを設けた。
- ・こどもゆめ横丁：「子どもが本気になれる機会をつくりたい！」という思いから、廃材を使ってお店づくり・商品づくりから当日の営業・片付けまで、すべてを子どもたち自身が行

なった。120人の子どもたちが35店舗を出店した。

- ・新春イベント：日本の伝統文化や風習を体験できると同時に、地域交流や世代間交流の場になるように餅つき体験、どんど焼き、紅白団子づくり、書き初めなどを行なった。

③ライブイベント

子どもたちが日ごろの音楽活動の成果を発表できる自己実現の場、中高生(利用者)のバンド等音楽をやっている者同士の情報交換や共有の場とした。事前の顔合わせや話し合い、チラシ・パンフの作成、前日・当日の会場設営や機材搬入・搬出などの準備・片付けも、すべて出演者たち自身で行なえるよう支援した。「KUJI ROCK (クジロック)」や「ゆる ROCK」(アコースティックライブ)を年4回開催した。

④15周年おたんじょうび会

夢パークがオープンした7月23日に、日常的に夢パークを利用している子どもたちを対象に「おはなし×2パーク特別編(絵本の読み聞かせ)」や“15”にまつわる遊び、「15分間のしっぽとり」等を広場で行なった。

また、子どもたちのアイデアいっぱいの“15”にちなんだ遊びを集めた『パネスに挑戦』や大きな手作りの織機でさき織りを行ない、15メートルの織物目指した。

< B) フリースペースえん >

①ミーティング

- ・内容：安心して過ごせる居場所を自分たちの力で整えていくために、誰もが言いたいことを言える環境づくりに力を注いだ。

○お茶会ミーティング(毎月1回) ○ショートミーティング(毎週月曜日) ○その他(随時)

②自然体験合宿

- ・内容：豊かな自然の中で寝食を共にし、子どもたちがプログラムやルールを自分たちで決めながら様々な活動を行なう合宿を年2回開催した。

○八丈島キャンプ

- ・日時：2018年7月29日(日)～8月3日(金) 5泊6日
- ・場所：八丈島底土キャンプ場
- ・参加人数：49名

○木島平スキー合宿

- ・日時：2019年1月27日(日)～1月29日(火) 2泊3日
- ・場所：木島平スキー場(長野県)
- ・参加人数：33名

③祝・フリースペースえん15周年 「たまりばフェスティバル2018 一期一えん。」

- ・内容：講座や自主企画など一年間を通して行なってきた活動の発表の場として、フェスティバルを開催。子どもたちが立ちあげる「プロジェクトX(フェスティバル実行委員会)」が中心となって仲間を集め、広報、プログラム・パンフレットづくりなど、その他の企画・運営を行ない、イベント全体を作りあげた。当日は、歌、ダンス、創作劇、楽器演奏、ビデオ上映、カフェ、作品展示等を行なった。

- ・日時：2019年2月17日(日)14:00～17:30(開場13:30)
- ・場所：川崎市男女共同参画センター すくらむ21
- ・参加人数：360名

④自主企画「この指とまれ」 (講座・自然観察・野外体験・イベント等)

- ・内容：講座や企画は子どもたちが「こんなことやりたい！」という思いをミーティング等で呼びかけし、仲間を募って実現していった。＜詳細は別表1参照＞

○連続講座 14講座

月1回程度、ものづくりや民族音楽(南米・アフリカ)やダンス、演劇、歌、アートなどの表現講座、お菓子づくりやイタリアンパスタ講座などを開催した。

○単発企画 28回

ミーティングなどで子どもたちが提案し、主体的な話し合いによって決定した自主企画や各種イベント等に参加した。

⑤個別学習支援および進路相談

- ・内容：さまざまな発達段階にある児童・生徒に対する個別またはグループでの学習支援および進路相談を行なった。また今年度は、集中して勉強する時間と場所を確保してほしいと希望する中学3年生がおり、受験前には学生ボランティアと集中して勉強し、高校進学を希望する者は全員、高校に進学した。

- ・日時：随時

- ・場所：フリースペースえん、川崎市子ども夢パーク内「多目的室」

< C) ブリュッケ >

①居場所支援

本事業では、生活保護を受給し「社会的ひきこもり」状況にある若者たちに対し、「居場所」を開設し、その運営を行なった。ひきこもり状態の若者たちが、居場所で「人」と出会い・つながり、つながった仲間と「体験」を積み、少しずつ居場所の外に出て「地域」とつながっていき、その先の就労を含めた自分の生き方を見つけていく。そのような支援が、地域の中で継続的に展開できるよう環境を整備し、きめ細やかな寄り添い型の支援を行なった。

○ミーティング

開設日午前中には、その日来所したメンバーが集まり、一人一人の「その日の体調」や「最近困っていること」、「今日、みんなで話をしたいこと」などを語り・聴く「ミーティング」を実施した。

○共食タイム

居場所開設日には、毎日スタッフと若者で協力し、調理、配膳(準備)、食事、片付けまでを行う「共食タイム」を実施した。「ブリュッケ」で出会う若者の中には、安定した生活習慣がなく「小さい頃から一日一食」という者も多く、栄養バランスも偏っている傾向が見受けられる。共食タイムでは、バランス重視のメニューを心がけ「食育」を考慮した生活支援に力を入れて取り組んだ。

○グループワーク

居場所開設日の午後には、若者とスタッフで一緒に行う「グループワーク」を実施した。プログラムについては、毎月若者とスタッフとで企画会議を開催し、若者たちの興味・関心のあることを企画化し、一カ月の予定を作成した。＜詳細は別表2参照＞

○フリータイム

「ミーティング」「共食タイム」「グループワーク」以外は、「フリータイム」の時間とし、スタッフや利用者同士で話したり、作業をしたり、パソコンやゲームをしたり、読書をしたり、外でキャッチボールをしたり、スタッフと買い物に行ったりなど、それぞれが過ごしたいように過ごした。

○個別相談

若者たちが、居場所開設時にも必要に応じてスタッフと個別に相談できる環境を整えた。若者たちの中には、「家族問題」や「失敗体験」などが原因で動けなくなっていた者も少なくない。本人だけでは抱えきれなくなっている状況を脱するためにも、安心して話せるスタッフに「不安」を語り、背負っているものを降ろしていく中で課題整理を行っていた。

②アウトリーチ支援

「電車など乗り物にのれない」「集団の中は緊張して居られない」「他人とコミュニケーションを取るのが難しい」などの問題はあるが、福祉事務所までなら来所でき、CWとやり取りできる若者に対し、福祉事務所での定期的な面接や、外で散歩したり、図書館に行ったりなど、ゆるやかな人間関係を構築するところからアプローチするアウトリーチ支援を実施した。

③就労支援

○就労支援の基本

ブリュッケの就労支援には、『居場所での成長を通して、自立・就労に繋げる』・『アウトリーチ支援により、自立・就労に繋げる』の2つのタイプがあり、どちらの支援も「就労支援を通じて、企業・地域とつながり～企業・地域と連携して、就労自立をサポートする」という視点を重視し行なった。若者が本来持っている能力を引き出すこと、自主性を尊重することを基本に、個別のニーズに応じたオーダーメイドのプログラムを作成し、寄り添い型の支援・「人と人を繋ぐ」支援を実施した。

○居場所から就労をめざす若者への支援の取り組み

居場所に通う若者には、居場所での活動による本人の一步一步の歩みと自主性を尊重し、一人ひとりの状況に応じた段階的・的確な就労支援を行なった。

○アウトリーチによる若者への就労支援

アウトリーチで出会う就労希望の若者には、希望職種の選択、求人情報の収集、応募先の選定、履歴書・職務経歴書づくり、面接準備、就労、定着という就労支援の全過程を、働くことへの自覚をつくる過程と捉え、就労とともに社会の中で自立していく力をつける大切な期間として寄り添い型の支援を行なった。

正社員を希望する若者には、「職務経歴書づくり」は特別に重要であり、この作成過程を通じて自分の人生と向き合う機会とした。

また、「職場見学・職場体験」「お試し就労」など、就労に繋がる支援を定期的に行なった。

その他、資格所得・職業訓練等、スキルアップに向けた支援も行なった。若者の職業スキルや社会スキルを向上させるために、ハローワークの職業訓練や受入れ可能な企業・NPO と連携し、職場実習やスキルアップ訓練、各種資格取得に取り組んだ。

○地域の経営者との信頼関係を構築

～「哲学のある経営者」との連携～

ブリュッケを受託後、川崎北税務署「間税会」、神奈川県中小企業家同友会（以下「同友会」）、川崎市商工会議所などの経営者団体及び地元の企業経営者・商店主との交流、連携を継続的に深めてきた。出会った経営者の中には、素晴らしい“経営理念”を掲げ、人材の育成にあたって、ダイバーシティ（性別、人種、障害、年齢、学歴、価値観などの多様性を受入れ、広く人材を活用することで企業改革、生産性の向上に役立てる）の考えを取り入れ、特に「同友会」に関しては、企業理念に「第1に、自社の存在意義を改めて問いなおすとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる企業。第2に、社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた豊かな人間集団としての企業」と謳

い実践され、ブリュッケの若者を受け入れてくれている企業も生まれている。

④川崎市内福祉事務所の職員（ケースワーカー）への支援

市内9カ所ある福祉事務所をまわり、各福祉事務所のケースワーカー（CW）を対象とした「相談・交流会」を実施した。簡単にブリュッケの事業説明を行った後、CWが対応に困っているケースについて一緒に考える機会を設けた。

また、ひきこもっている若者と家庭訪問時でも出会えず、対応に困っているケースの対策として、CW対象の個別面接相談やスーパーバイザー派遣など随時行い、「CWへの支援」を積極的に取り組んだ。

<「工房たまりば」の運営>

・内容：手づくりの藍染め製品を中心に、つながりのある地域作業所や関係団体の品物を展示・販売した。同じスペース内にオーガニックカフェ「たまりばーる」を設け、その運営は保護者でもある金山悦子氏が担った。

・開設日時：水～日曜日 10：30～21：00

・場所：神奈川県川崎市多摩区宿河原6-26-24 フジビル101

(4)保護者・教育関係者・学生・市民の学習と交流の機会及び情報の提供・発信活動

<広報・啓発活動>

①通信の発行

・内容：毎月のカレンダー、活動報告、お知らせ等を掲載した定期情報紙『楽えんだより かわら版』（毎月）と『たまりば通信』（年4回）や、一年間の活動の様子や会員の寄稿を掲載した冊子『楽えんだよりDX』（年1回）を制作、発行した。

②ホームページの開設と運営

・内容：活動の予定や報告などをホームページで公開し、たまりば会員だけではなく一般の人への広報の場とした。

URL <http://www.tamariba.org>

③フリースペース活動説明会

・内容：不登校・ひきこもりに関する理解を促進し、「フリースペースえん」や「川崎市子ども夢パーク」の活動をより身近に感じ、知ってもらうために「フリースペースって、どんなところ？」を開催した。

・日時：毎偶数月

・対象者：不登校児童・生徒の保護者、ひきこもりの当事者、支援機関、学校関係者、研究者、学生等
(延べ144人参加)

④講演活動・スタッフ派遣および視察・見学等の受け入れ

・子どもや若者たちの学校外での多様な生き方や学び方への理解を深め、保護者はもとより、広く学生、市民、教育関係者などに対する啓発を目的として、小中高等学校・大学、市民館や教育関係機関などにおいて、講演活動を行なった。

・一年間を通して、各地から川崎市子ども夢パーク及びフリースペースえん等への視察・見学を170件受け入れた。今年度も諸外国（ドイツ、韓国、台湾、フィンランド、ベトナム）で子どもと関わる仕事をしている方々などの視察を受け入れた。

- ・実際の現場を見てみたい CW に向けて、ブリュッケを会場に「ブリュッケ見学・意見交換会」を年 2 回開催した。第 1 部ではブリュッケの活動をパワーポイントで紹介し、第 2 部ではブリュッケスタッフとケースワーカーとの意見交換会を行った。
- ・川崎市内の児童相談所（3 カ所）を訪問し、ふれあい心の友の活動を中心にフリースペースたまりばの各事業について、児童相談所全職員を対象に事業紹介を行なった。
- ・遊び場づくりなどを行っている団体へスタッフ派遣をし、子どもの遊び環境の充実を図った。

⑤講演会の開催

- 「子どもの居場所に関わる大人の養成基礎講座（バウンダリー編）」の開催＜夢パーク自主事業＞
 - ・内容：「安心・安全な空間と関係をつくる境界」「気持ちと考えをお互いに尊重できる境界」「自律と自立を育む境界」など、バウンダリー（境界）について、市内外の居場所に関わる人、ソーシャルワーカー、教員、行政職員、こども文化センター職員など子どもに関わるおとなや、研究者、学生、市民と考える講座『わたしとあなたを“たいせつ”にできる「境界」』を 3 日開催した。
 - ・講師：長谷川俊雄氏（白梅学園大学子ども学部教授）
 - ・会場：川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
 - ・参加人数：延べ 99 名
- 「たかはしべんさんのお話とコンサート」を開催 ＜かわさき子どもの権利の日のつどい＞
 - ・内容：40 年間子どもの幸せを歌い続けてきた歌手のたかはしべんさんをお招きし、お話と歌を聴き、歌に込められたいのちのメッセージなどを知り、いのちと人権について考える会を開催した。
 - ・講師：たかはしべん氏（歌手）
 - ・会場：フリースペースえん
 - ・参加人数：84 名

<各種会議やネットワークへの参画・連携>

- ⑥神奈川県フリースクール・フリースペース NPO ネットワーク会議への参画
 神奈川県内のフリースクール・フリースペースの NPO ネットワーク会議に委員として参画。
 県民局青少年サポート課と連携して県内フリースクール・フリースペースのネットワークづくりをすすめた。
- ⑦神奈川県学校・フリースクール等連携協議会（事務局：神奈川県教育委員会）への参加
 神奈川県内で不登校児童・生徒のための居場所づくりをすすめるフリースクールやフリースペースと学校や教育関係機関との連携・協働を推進することを目的に発足した神奈川県学校・フリースクール等連携協議会の企画委員会委員として参加。不登校相談会・進路情報説明会などを行政と協力して開催した。
- ⑧川崎市不登校対策連携協議会（事務局：川崎市総合教育センター）への参加
 学校、民間施設、児童相談所、精神保健福祉センター、県警少年相談・保護センター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが集まって、市内の不登校児童生徒の現状を把握し、支援のあり方を協議する川崎市不登校対策連携協議会に委員として参加。
- ⑨文部科学省「フリースクール等に関する検討会議」への参加
 フリースクール等で学ぶ子どもたちの現状を踏まえて、学校外での学習の制度上の位置づけや、子どもたちへの支援策の在り方について検討するフリースクール等に関する検討会議に委員として参加。

⑩その他の行政等との協働および各種委員会等への参加

「高津区子ども・子育てネットワーク会議」委員長、「高津区要保護児童対策地域協議会」、「高津区生涯学習推進会議」、「川崎市発達障害者支援地域連絡調整会議（川崎市健康福祉局）」、「川崎市青少年教育施設専門部会（こども未来局青少年支援室）」、神奈川県青少年問題協議会（神奈川県福祉子どもみらい局みらい部青少年課）、などに委員として参加。その他「高津区ボランティア・当事者連絡会」へ参加。

⑪地域との連携およびイベント等の実行委員会への参加

下作延第一町内会意見交換会、雑居まつり実行委員会（世田谷）、神奈川県フリースクール・フリースペース・フェスタ実行委員会、かわさき子どもの権利の日事業部会。

⑫民間団体との連携

市民や企業から寄付を集め、県内の子ども・若者や子育てにかかわる NPO へ助成する仕組みづくりを行なう「認定 NPO 法人神奈川県子ども未来ファンド」に、理事として参画。さらに、設立準備の段階から関わってきた「かわさきチャイルドライン」（子ども専用電話）の運営委員を務めた。（ともに理事長 西野）

<研修・実習等の受け入れ>

⑬フリースペースえん及び川崎市子ども夢パーク

ボランティアや職員、学生等の体験研修・実習を受け入れた。（川崎市職員NPO法人派遣研修、神奈川県青少年サポート課主催 学生ボランティア体験講座の受講生、東京慈恵会医科大学地域子育て支援体験実習、白梅学園大学子ども学部体験実習、横浜桐蔭大学サービスラーニング実習、早稲田大学文化構想学部 こども支援の現地学習、日本女子大学社会福祉学科フィールドワーク、和光大学現地研修、神奈川県大学社会教育実習など）

⑭ブリュッケ

- ・市内 9 福祉事務所のケースワーカー（CW）を対象にした「CW 相談・交流会」を年 4 回開催した。事業説明だけでなく、実際に CW が対応に悩んでいるケースを相談できる環境を作り、一緒に考える機会とした。（延べ 41 人参加）
- ・自立支援室との共催で、年 10 回「CW 研修会」を実施した。西野理事長が年 2 回務めた研修会「不登校・ひきこもりの理解と対応」には延べ 60 人の CW が参加した。長谷川理事が年 8 回務めた「CW の知識とスキルに関する連続講座」には延べ 145 人の CW が参加した。

<かながわ生活困窮者自立支援ネットワークへの参画 >

F) かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク（幹事団体及び川崎地域事務局）

- ・内容：昨年度に引き続き、川崎地域を中心に生活困窮者等の自立支援を行う団体の事業内容の把握や連携に向けた関係構築に努め、「かながわ生活応援サイト」を 6 月 29 日に公開し、併せて冊子版をサイト掲載団体に配布した。

- ・運営体制：【全体事務局】一般社団法人インクルージョンネットかながわ
【川崎地域事務局】認定 NPO 法人フリースペースたまりば
【県西・県央地域事務局】特定非営利活動法人子どもと生活文化協会

研修・ネットワーク会議

- 「生きることの包括的支援～地域共生社会を目指して」（県、座間市、かなこんネット共催）
＜事務担当：県西・県央事務局＞
 - ・日時：2018年7月30日
 - ・講師：清水康之氏（NPO法人ライフリンク代表）
 - ・会場：サニープレイス座間
 - ・参加人数：124名

- 「地域共生社会に向けた包括的支援～生活困窮者自立支援制度を活用したソーシャルワーク機能の展開～」（県、藤沢市、かなこんネット共催）＜事務担当：全体事務局＞
 - ・日時：2018年11月1日
 - ・講師：片山睦彦氏（藤沢市福祉健康部長）、藤沢市内生活困窮者自立支援事業実施団体
 - ・会場：藤沢市民会館
 - ・参加人数：135名

- 「まちで子どもと共に“生きる”ということ～多様な背景を持つ子どもたちの暮らし～」
（県、かなこんネット共催）＜事務担当：川崎地域事務局＞
 - ・日時：2019年1月21日
 - ・講師：コーディネーター：長谷川俊雄氏（白梅学園大学教授）
報告：石井淳一氏（ことぶき学童保育・ことぶき青少年広場職員）
鈴木健氏（川崎市ふれあい館 職員）
 - ・会場：万国橋会議センター
 - ・参加人数：65名

事例検討会（会場はすべてかながわ県民センター会議室）

- ・第1回「フードバンク」 6月11日（参加者40名）
- ・第2回「老後破たん」 7月24日（参加者20名）
- ・第3回「8050問題」 10月9日（参加者17名）
- ・第4回「就労支援の課題」 11月29日（参加者21名）
- ・第5回「終活支援」 3月14日（参加者14名）

【別表1】

<フリースペースえん>

連続講座

講座名	実施回数	講師	内容
ものづくり ～作って遊ぼう～	月1回	平林浩	紙とんぼや吹き矢などの伝承おもちゃや、電池ボックスやミニモーターで通信機を作り、遊んでみることで物のしくみを学んだ。
演劇講座	月1回	片岡五郎	自分の姿勢を意識するためにモデル歩きをしたり、感情を顔の表情で伝える表現方法を学んだりしながら演技の基礎を身につけた。
ジャンベを たたこう	月1回	B.B.モフラン	西アフリカの太鼓・ジャンベを楽譜を使わずにリズムワークショップを行ない、また、コンゴの話聞いてアフリカの文化に触れた。
フォルクローレを演 奏しよう	月1回	TOYO 草 薙	アンデス地方の民族楽器(チャランゴ・ケーナ・サンポーニャ・ボンボ)を皆で合わせて演奏した。
ケーナ講座	月1回	長岡竜介	南米のたて笛・ケーナで南米の曲から日本の曲など演奏して、ケーナの楽しさを知ると同時に、楽譜の見方なども学んだ。
ジャズダンス	月1回	西崎小恵子	柔軟・ストレッチなどのウォーミングアップをし、みんなで踊りたいダンスを踊ることで、身体全体で表現する楽しさを知った。
ボイス トレーニング	月1回	西崎小恵子	発声練習・リズム練習を行なう中で、自分の音域を知ったり、姿勢で声の出方が変わることを体感しながら、歌いたい曲を歌った。
アート	月1回	有北いく子	絵を描くだけではなく、お面や箱、カードやカレンダーを作ったりして、表現の楽しさを知った。
お菓子づくり	月1回	堤彰子	パンや小麦粉中心のおやつを生地から練って、作った。作って食べるだけではなく、食の空間を知り、感じる時間とした。
イタリアン パスタ講座	月1回	小林英紀	ホワイトソース・トマトソースの作り方を基礎から学んだり、包丁の持ち方など教わったり、料理の楽しさを知った。
歌講座	月1回	桜井純恵	姿勢や腹筋の使い方、口の形等の基礎から、譜面の読み取り方、表現方法を学び、様々な曲を合唱した。
染めもの講座	月1回	松田菊代	藍のすくもに灰をまぜたりしながら、本格的な藍の染料をつくる藍建てを行ない、いつでも藍染めができるように環境を整え、ハンカチやTシャツを染めて楽しんだ。
青空美容室	年6回	尾松陽太	髪の毛を切ってもらったり、アレンジをしてもらったりしながら、プロの技に出会った。
ともに生きる	年6回	開発教育協 会(DEAR)	プラスチック問題から環境問題について考えたり、私たちが口にするチョコレートの背景にある児童労働の問題を知ったり、手話の世界を体験したりしながら、「ともに生きる」ことについて考えるワークショップを行なった。
東日本大震災につ いて考えよう	毎月11日 (平日の み)		東日本大震災から8年。過去の出来事とするのではなく、「ふるさと」を歌ったり、ドキュメンタリー映画を観たりして、みんなで思いを巡らした。また、11日(平日のみ)を“震災めしの日”とし、電気を使わず三升釜でごはんを炊き、震災が起きた時、自分たちは何ができるかを考え続ける日とした。

単発企画（2018年度 実施・参加したもの）

実施時期	企 画
4月11日	斎藤洋さんと野染め
4月20日	はまぎんこども宇宙科学館に行こう！
5月16日	ドイツからこんにちは！（ドイツの視察団と国際交流をしよう）
6月23日	2017年度えん活動報告会
7月11日	お外でかまどめし（東日本大震災について考えよう企画・電気を使わない日）
7月16日	夢パまつり 2018 祝15周年
7月23日	夢パークのおたんじょうび会
7月26日	救命救急講座 ～AEDをつかってみよう～
7月29日	夢パーク：KUJIROCK 18-summer-Vol.40
8月20日	夢パークで福島の子どもたちと一緒に流しそうめんをしよう
8月26日	高津区子どもフェア！！手作りダンボール舟にのってレースをしよう！
9月4日	防災訓練
9月8日	フリースクール・フリースペース・フェスティバル＜フォルクローレ演奏、出店＞ （神奈川県立青少年センター）
9月27日	バスボム作り
10月7日	雑居まつり＜出店＞（世田谷羽根木公園）
10月20日	白梅学園大学大学祭＜フォルクローレ演奏＞（小平市）
10月24日	よこはま動物園ズーラシアへ行こう
11月4日	こどもの権利の日イベント「こどもゆめ横丁（子ども商店街）」
11月25日	夢パーク：ゆる ROCK
11月28日	たかはしべんさんコンサート
12月5日	遠藤さんとクリスマスツリーをつくろう
12月13日	岡本太郎美術館に行こう
12月20日	大そうじ
12月21日	えんクリスマスパーティー
12月23日	夢パーク クリスマスイベント
1月13日	初夢！新春イベント～もちつき・どんと焼き・書初め・昔遊び～
3月15日	大そうじ
3月18日	春だ！春だ！パーティー（巣立ちの会）

その他の企画

企画	実施回数
おはよう、スタディ！（学習支援）	週2回
きれいにし隊（近隣清掃）	週1回
バースデーパーティー	月1回
畑づくりプロジェクト	通年
吉田さんのお茶と着付けをしてみよう	通年
おやつづくり	随時
藍染め	随時
ものづくり（木工、手芸など）	随時

【別表2】

<ブリュッケ>

① 定期開催講座

講座名	内 容
パソコン講座	「Word」「Excel」「PowerPoint」のスキル習得講座 (講師:「デライトワーク」藤崎さん)
女子会・男子会	悩みや不安を語り合うワーク
サイコロトーク	「自分について語るワーク」(サイコロの出た目に書かれている題材をそれぞれが語り、みんなで聴き合う)
みんなの音楽	言葉以外で「自分の好きなことを表現するワーク」(好きな音楽をユーチューブで選び、プロジェクターで映し出してみんなで観賞し、感想を語り合う)
映画鑑賞	言葉以外で「自分の好きなことを表現するワーク」(お勧めの映画を選び、みんなで観賞し、感想を語り合う。8月は一週間かけて映画祭を開催)
当事者研究会	「自分のこと」、「他者のこと」を考え、語り合うワーク

② 単発講座

実施時期	企 画
4月	・野染め(野外布染め)体験(講師:斎藤洋)
5月	・柏餅づくり
6月	・どら焼きづくり
7月	・七夕飾り・短冊づくり ・ほうじ茶スイーツづくり
8月	・アイスクリームづくり
9月	・十五夜おはぎづくり
10月	・かわパラ(パラスポーツ体験)に参加 (主催:神奈川県中小企業家同友会カルツツかわさき) ・パンプキンカービング(講師:中川裕子さん)
11月	・運動DAY(近所の野球場でサッカーや野球、フリスビーをする)
12月	・クリスマス会(唐揚げ、たこ焼き、フライドポテトづくり)
1月	・現世界チャンピオンと「ボクササイズ」(講師:古橋岳也さん) ・書初め
2月	・節分 ・バレンタインデー(チョコづくり)
3月	・ホワイトデー(クッキーづくり) ・元住吉ブレーメン商店街散策

③ 就労に関するワーク(職場体験・見学等)

実施時期	企 画
4月	澁谷農園(高津区梶ヶ谷)での農業体験(タケノコ堀り)
12月	城南産業(川崎区貝塚)で職場見学
2月	美容師の尾松陽太さん(RICCA 恵比寿)の話聞く会

④ 若者企画イベント

実施時期	企画
4月	・「江ノ島水族館」観賞（江ノ島）
5月	・テニス体験（登戸：コーチ川原さん） ・「ズーラシア」観賞（中山）
6月	・スポーツ大会（等々力：バスケ、バドミントン、卓球、バレー等） ・原宿の街散策
7月	・卓球大会（中原） ・ボーリング大会（溝の口）
8月	・映画祭の開催 ※暑い日が続いたため、外出企画は中止
9月	・「ジャンプ展」観賞（六本木） ・「バッティングセンター」企画（久地）
10月	・カラオケ大会（武蔵新城）
11月	・「まんがタイム きらら展」観賞（秋葉原・アーツ千代田）
1月	・ボーリング大会（溝の口）
3月	・ブリュッケ遠足「体感型動物園IZOO」で爬虫類観賞（静岡県河津市）